

ティーチング・ポートフォリオ

日本国際学園大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科

田上 大輔



日本国際学園大学
JAPAN INTERNATIONAL UNIVERSITY

教育の責任

1. 何を担当しているのか

「日本語リテラシーA・B」および「キャリアデザイン基礎A・B」（「キャリアデザイン基礎B」は夏季集中講義6回分）を担当している。

「日本語リテラシー」では、レポートの書き方やアカデミックスタイルの表現を学びながら、自分の考えを論理的に整理し、わかりやすく伝える力を育てることを目指している。

「キャリアデザイン基礎」では、自分の強みや価値観を見つめ直し、将来の働き方や生き方について前向きに考える姿勢を養っている。

どちらの授業においても、学生が自信を持って社会に踏み出すための土台を築くことを大切にしている。また、キャンパスアドバイザーとしては、「基礎ゼミ1」の運営にも関わり、学生が大学生活にスムーズに適応し、自立的に学び続けられるようサポートしている。

現在（2025年度現在）の担当科目とその概略は以下のとおりである。

科目名	対象 学年	受講 人数※	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
日本語リテラシーA(留学生)②	1	21	講・演	必修	基礎科目
基礎ゼミ1	1	—	—	必修	基礎科目
キャリアデザイン基礎A(留学生)	1	50	講・演	必修	キャリア支援科目
キャリアデザイン基礎B(留学生)	2	—	講・演	必修	キャリア支援科目
日本語リテラシーB(留学生)②	1	25	講・演	必修	基礎科目

※受講人数は過去の実績による平均受講人数

教育の理念

私の教育の目的は、学生があらかじめ正解の定まっていない問いに向き合い、根拠を積み重ねて考え抜く力を身につけることである。現代社会は変化のスピードが速く、将来を正確に予測することは困難である。そのような社会を生きていくには、単に知識を記憶するだけでなく、新たな課題に直面したときに、自ら考え、調べ、判断し、表現する力が求められる。

この力は分野を問わず広く必要とされ、学生が将来どのような道を選ぶにしても有用である。教員の役割は、答えを一方的に教えることではなく、学生が主体的に思考し、対話し、自分の言葉で表現する場を設け、その過程を支えることにある。知識の習得とともに、学び続ける姿勢と方法を伝えることで、学生が自信を持って社会に踏み出せるよう支援していきたい。

教育の方法

授業では、学生が自ら考え、発言し、表現できるようになることを重視している。Google クラウドルームを活用して教材や課題を共有し、授業時間外でも継続的に学べる環境を整えている。Kahoot!などのクイズアプリを用いて理解度をその場で確認し、楽しみながら知識を振り返る機会を設けている。また learning BOX を活用し、ウェブ上で繰り返し学習できる問題を作成することで、知識の定着を図っている。さらに、Padlet を活用して学生同士の意見交換や振り返りの共有を促し、多様な視点に触れる機会を設けている。こうしたツールを効果的に組み合わせることで、知識を身につけるだけでなく、「なぜ学ぶのか」「どう学ぶのか」といった学習のプロセスを自ら振り返りながら、主体的に学ぶ姿勢を育てることを目指している。

教育の成果 および 今後の目標

詳細は「授業改善報告書」を参照。

参考資料

授業で使用した Kahoot!（部外秘）

授業で使用した learningBOX （部外秘）

授業で使用した Padlet（部外秘）